

南海トラフ地震臨時情報「巨大地震警戒」発表時の学校の対応

東日本を震源とする「半割れ」(東割れ)発生(M6.8以上の地震)

※最大想定M9.1の地震

南海トラフ地震臨時情報「巨大地震警戒」発表

南海トラフ地震防災対策推進地域
指定市町村→大分県全域

原則休校(1週間) 選択登校も可能

事前に自宅より学校で過ごす方が安全と認められた
児童等は登校を可能とする。※配布資料②参照

【原則休校の理由】

- ・東割れが発生した場合、社会的状況が大きく変化し、西日本にも多大な影響を与える可能性がある(ライフラインの寸断、交通網の麻痺、経済的損失等)。
- ・過去の事例から、先に東側で発生した場合、西側で後発地震が発生している。その為、**西日本でも災害に対する警戒や防災対応が必要となる。**
- ・県内の沿岸部でもしばらくの間、津波に関する警戒情報が出続ける。

※「半割れ」等の解説は配布資料⑤参照

【警戒中の学校の対応】

- ・災害対策本部設置
- ・危機管理見直し
- ・校内点検
- ・避難所開設準備(熊本地震等の教訓)
→避難所に指定されていない場合でも、地域住民が避難してくる可能性がある。
- ・防災学習(地域のハザードマップ活用)や訓練の計画・準備

【学校再開に向けての対応】

- ・休校後、社会的状況・地理的条件・児童生徒の状況等をみながら、学校再開が可能か慎重に検討する。
- ・学校再開に向けたイメージ
対応例:休校中も児童等の家庭の事情に応じて、登校を可能とする。

【警戒措置】
地震発生から1週間目

休校(1週間)

【注意措置】
2週間目

選択登校(学校避難可)

3週間目

通常登校

【警戒措置】地震発生から1週間

【注意措置】更に1週間

「選択登校(学校避難可)」の具体的対応例(各学校で判断)

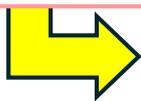
選択登校は学校長の判断で実施するが、学校は以下のことを想定し、選択登校へ向けて準備を行う。

※下記のことを事前に学校と保護者で一緒に確認しておく。

- 事前に学校と保護者で確認し、休校中も自宅より学校で過ごす方が安全と認められた児童等は、家庭の要望に応じて登校を可能とする。
 - ・学校が日中の児童等の安全な避難場所となる。
 - ・休校中の授業実施はしない。
- 一家全員で他の地域に避難するケースや自宅が高層建築等で安全であることなど、家庭の事情により児童等が登校できない時もあることを想定する。
- 「選択登校(学校避難可)」の期間中、次のことを検討する。
 - ・欠席者へのリモート授業等の実施
 - ・部活動等の中止
- 通学時の安全を確認する。
- 学校が指定避難所となっており、事前避難者がいる場合、状況に応じて児童等が、避難所運営に参画することも考えられる。

「選択登校(学校避難可)」は日常・災害の二刀流(両にらみ)の対応

①自宅が2階建てで浸水想定区域にある。両親は共働きで、かつ仕事を休めない状況。日中、一人で自宅に過ごすのは不安だから登校したい。



個別性・多様性を持った対応

選択登校(学校避難可)

各家庭で、児童等の安全を一番に考えて、登校の是非を判断します。

例

- ①の場合は学校を避難場所として活用
- ②の場合は、登校しないこととし、自宅や他の避難場所に避難

なお、休校中であっても学校の方が安全と認められた場合は登校を可能とします。



②自宅がマンションの7階。津波で浸水しないし、学校までの通学距離が長いので登校しない方が安全だろう。

「選択登校(学校避難可)」の導入について

南海トラフ臨時情報「巨大地震警戒」の発表時は「県内ではまだ災害が発生していない」状況であり、いわば「ふだん(平常時)とまさか(災害時)」が入り混じったどっちつかずの状態である。そのため、経済活動や社会活動は継続されつつ、災害の発生に備えている社会状況である。

このような場合「二刀流(両にらみ)」の対応が有効と考えられており、「選択登校(学校避難可)」の導入を図ることとした。

参考:矢守克也「避難学「逃げる」ための人間科学」東京大学出版会 p221-225(2024)

南海トラフ地震における 1m波高到達時間・最大津波高

中津市小祝新町
1 m波高：206分
最大：2.8m

宇佐市郡中新田
1 m波高：194分
最大：2.7m

豊後高田市香々地町見目
1 m波高：343分
最大：2.8m

国東市安岐町塩屋
1 m波高：70分
最大：5.2m

杵築市熊野
1 m波高：78分
最大：4.3m

日出町日出港
1 m波高：85分
最大：5.0m

別府市北的ヶ浜町
1 m波高：85分
最大：4.6m

大分市佐賀関西町
1 m波高：53分
最大：8.3m

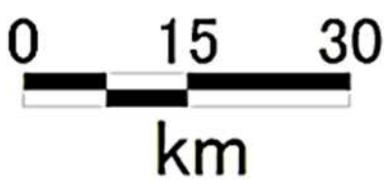
臼杵市臼杵川河口
1 m波高：58分
最大：5.8m

津久見市港町
1 m波高：51分
最大：5.3m

佐伯市葛港
1 m波高：46分
最大：7.4m

佐伯市米水津浦代浦
1 m波高：28分
最大：12.8m

佐伯市蒲江丸市尾浦
1 m波高：26分
最大：13.5m



凡例
単位：T.P.m

10 - 14	10 - 14
7 - 10	7 - 10
5 - 7	5 - 7
3 - 5	3 - 5
2 - 3	2 - 3
0 - 2	0 - 2

H.25 大分県被害想定参照
※今後変更になる可能性があります。